

## 地球温暖化を考える!



昨年の大雪、今年の記録的な「暖冬少雪」は、古老も記憶に無いという。この天気の変り様は人間のおよびもつかない自然の力なのか、それとも人為的な温暖化に起因しての現象なのか……!!

この春に3人目のお孫さんが授かるおばあちゃんから、議員・政治家に一番考えてもらいたいことは「地球温暖化」対策ですと言われた。この子達の将来のためにも、地球を守らなくてはと…。エコ製品を・マイバックを・冷暖房は1度控える・水道の蛇口はこまめに・コンセントを抜く習慣を・車のアイドリングはダメ。そして、2月14日に「チーム・マイナス6%」の会員になったと熱く語る……。

議員2ヶ月目（一昨年）の12月17日、地球温暖化防止活動推進員（松井正敏・林直枝・志太喜恵子）主催による“みんなで考えよう”地球温暖化の勉強会はショックでした。

地球規模で起きている現象の映像に引き込まれる。・米国ワシントン州サウスカスケード氷河の後退・キリマンジャロの積雪が82%（90年間）消失・北極の海氷厚みが40%（40年間）減少・海面上昇で埋没した島々・九州にしかいなかった蝶が山口や広島県に（植生生態系の変化）・世界各地で発生する洪水と渇水・そして異常気象と…!

今も広がっている地球温暖化。今の生活を見直さなければ、核の恐怖よりも確実に地球は危なく、地球衰退の道を選び歩んでいると思った…。このままでは100年後に大気中の二酸化炭素の濃度は現在の2倍以上になり、地球の平均気温は5.8度も上がると予測されている。地球温暖化の影響を受けるのは私たちの後の世代です。次の世代、後の世代のためにも責任は私たちにあります。

私たちが毎日使っている車、石油や電気、そして水道が地球の気温を上げていると言う。理屈としては分かるが、なかなか生活の中では実感としてとらえられないが…。子ども達の未来のために、今日から「一人一人が行動に移し」身近なところから取組もう。そして勉強会やその輪を広げることが大切だ。

今日、「チーム・マイナス6%」の会員になった。

※日本は温室効果ガスを6%削減すると世界に約束しましたが、減少させるどころか7.6%増加させてしまいました。一人一人の行いは小さいですが、それが結集すれば地球規模の大きな力になれる。約束を果たすための国民的プロジェクトが「チーム・マイナス6%」です。3月に会員が100万人になった。

## 19年度一般会計予算281億9千万円（前年比6.9%増）

3月定例議会は「予算議会」とも言われ、5日から22日までの会期で行われた。当市の財政は、実質公債費比率23.4%、県内ワースト1で、財政破綻した「タ張市」が引き合いに出され、「南魚沼市は大丈夫だろうね!」と、良く聞かれる。本議会でも一般質問で8名の議員が、財政問題で市長に迫り聞いた。だした。

当市の実質公債費比率は、一般会計で14.4%、下水道特別会計で4.9%、水道事業会計で4.1%、広域連合解散で0.7%、病院事業会計と債務負担行為によるもので各0.1%。原因は生活基盤整備（下水道、水道）によるもので、破綻したタ張市とは内容が違うし、平成25年度までには、財政が健全と言われている18%まで下げる計画だ。

しかし、借金は借金であり、今後、斎場や消防本庁舎の改築が計画されている。財政の健全化と併せ、ますます厳しい運営が求められる。議員一人一人の責任は重大だと思つた3月議会。

# 一般質問

先日は井口市長、松原議長をはじめ大勢の議員・幹部職員の皆さんから、伝統ある裸押し合い祭りに、参加いただきありがとうございました。

裸押し合い祭りが国の無形民俗文化財に選択され、3月2日から4日まで、調査委員長である新潟大学の飯島教授をはじめ16名の調査員の方が、祭りの調査に入っていました。そして、国からも文化庁の石垣文部科学技官が、県からは文化行政課の鈴木主任調査員が来られました。

裸押し合い祭りを、後世に記録として残すため市の大きな支援に感謝しております。これからも伝統行事に対しての、ご指導とご協力を宜しくお願い致します。

さて、先に通告致しました2点について質問致します。

## 「魚沼地域基幹病院」の 一日も早い開院を

一昨年の12月、新市の初議会から本3月議会まで、12名の議員諸氏がこの問題を取り上げ、本議会でも私を含め3名の議員が質問した。そして、議会には基幹病院の特別委員会が設置され5回の委員会を開催する。人間の命に関わる問題で、市民にとって重要な関心事であるからだ。



市立ゆきぐに大和病院

市長は常々、県が撤退しても六日町病院は存続させる。大和地域の医療は、良くなっても悪くはならない。県は早く基幹病院の構想案を地元を示すべき、その姿が分らなければ、今後の大和病院の運営や六日町病院に対して、どのような考えかと言われても、対応できないと言い続けてきた。

基幹病院が設置される南魚沼市と、基幹病院が設置されない魚沼市・十日町市とでは、事情が異なるわけだから、市長の考えに賛同していた。

最近、市長は基幹病院に1次医療も含めた体制を考え、大和病院は福祉・保健部門に特化し、県が撤退を打ち出している六日町病院を引き継ぐという方向に対し、病院長は大和病院に外来センター構想を描いている。財政を預かる市長と、命に直接接する病院長とでは、考え方が違って理解されるところだ。

しかし、今まではいいでしょう。

平成12年に、県立小出病院の改築要望に端を発し、魚沼地域に新たな基幹病院構想が浮上し7年。県を始め関係市町村、医師会の努力により、今年度中には基幹病院の概要（診療科目、病床数等）が示され、19年度中には基本計画が策定される。

今後は、市長と病院長が一体となった考えで、県に対して意見や要望を述べるのが大切だ。基本計画が示される19年度、これからは、考えや意見が違っては困る。そのために、市長と病院長の定期的な会議、せめて月一回くらいの話合いが不可欠と思うが市長の考えを伺う。

又、300人からの職員がいる病院だ。新体制になる4月からは、週に一回くらいは副市長もしくは、部長が出向く事が大切と思うが考えを伺う。

### 〈市長答弁〉

・平成22年の開院を予定しているが、1年位遅れるかも分らないが、命にかかわる問題ですので、一日も早い開院を目指す。

・指摘の通り市長という立場と病院長では、考えに違いが出ることはある。その事によって、意思

31日	市観光協会関係局長送別会	17日	農業技術学院閉校式及び閉校惜別の会	7日	毘沙門天お日待ち	1日	裸押し合い大祭	14日	南魚沼市雪まつり
30日	さいとう県議出陣式	13日	議会一般質問で登壇	8日	社会厚生委員会	1日	裸押し合い大祭	15日	白山神社祈年祭宵祭り
27日	町屋踏切交差点で陳情	12日	十二講まつり	9日	農業技術学院南魚支部同窓会	2日	議会定例会	16日	浦佐地区観光開発委員会
24日	さいとう隆景県政報告会	11日	議会一般質問で登壇	8日	農業技術学院南魚支部同窓会	3日	議会定例会	17日	(有)ウラコウ監査・役員会
23日	第40回浦佐小学校卒業式	10日	議会一般質問で登壇	7日	農業技術学院南魚支部同窓会	4日	議会定例会	18日	裸押し合い「雪」対策会議
22日	議会・執行部合同懇親会	9日	農業技術学院南魚支部同窓会	6日	大和中学卒業式	5日	議会定例会	19日	第1回東京マラソン参加
21日	裸押し合い企画推進部会	8日	社会厚生委員会	5日	大和中学卒業式	4日	議会定例会	20日	毘沙門堂雪大作戦
20日	毘沙門通り活性化会議	7日	農業技術学院南魚支部同窓会	3日	裸押し合い大祭	2日	議会定例会	21日	第5回病院事業運営委員会
18日	魚沼漁協浦佐支部総会	6日	農業技術学院南魚支部同窓会	1日	裸押し合い大祭	1日	議会定例会	22日	(有)ウラコウ第1期総会
18日	第1回東京マラソン参加	5日	大和中学卒業式	1日	裸押し合い大祭	1日	議会定例会	23日	裸押し合い記録保存実行委員会
16日	(有)ウラコウ監査・役員会	4日	議会定例会	1日	裸押し合い大祭	1日	議会定例会	24日	「撤与講中」餅つくり
15日	浦佐地区観光開発委員会	3日	議会定例会	1日	裸押し合い大祭	1日	議会定例会	25日	社会福祉協議会評議委員会
14日	白山神社祈年祭宵祭り	2日	議会定例会	1日	裸押し合い大祭	1日	議会定例会	26日	社会福祉協議会評議委員会
14日	南魚沼市雪まつり	1日	議会定例会	1日	裸押し合い大祭	1日	議会定例会	27日	議会運営委員会
14日	南魚沼市雪まつり	1日	議会定例会	1日	裸押し合い大祭	1日	議会定例会	28日	つつじクラブ勉強会



疎通がないとか不協和音があるということではなく、その違いを通じより問題を深め、理解をしているので安心を。

・定期的とか週一回というのは、なかなかできないが、今まで以上に病院長とは会合を持つ考えだし、副市長・部長制になる4月からは、より現場に出向くようにする。

## 「景観行政団体」に名乗りを!

景観法が施行され2年が経った。景観法により政令指定都市、中核都市は自動的に景観行政団体になる。本県では県と新潟市と新発田市が、佐渡市はこの3月9日に県の同意を受けて、「景観行政団体」になったと3月10日の新聞に報道された。

景観法ができた背景として、高度成長期以降、良好な景観や生活環境を求めるよりも、経済性が優先され、建築基準法や都市計画に違反しない限り、どのような形態の建築物でも建てる事ができることになり「建築自由の国」と揶揄される状況だ。

長い年月をかけて形成されたヨーロッパなどの伝統と風格のある街並みに比べ、日本では全国どこに行っても同じような住宅やビルが整然と並ぶ状態になり、地域ごとの特色ある街並みが失われてきた。こうした事態に対する危惧から「景観法」は生まれた。

今、浦佐の中心街本町商店街では、16メートル道路構想の都市計画を見直し、現状の道路幅で毘沙門堂に似合った街並みに、そして、道路も車優先でなく、人と車が共生できる道路・街並みにと話し合いがスタートした。

1月31日には、県地域振興局と八海山麓水無溪谷研究会、将来の天王町都市構想を考える会、裸押し記録保存・地域活性化部会、NPO法人「野外教育学習センター・魚沼伝習館」、直売所「八人八色」、むかしや（ふるりの昔を伝える会）そして井口助役の出席を得て、町づくりの勉強会を開催した。

その中で、大和地区は八色原の田園がキャンパスの国際大学、北里学園、国際情報高校と大和病院の隣接地に建設される魚沼基幹病院を結ぶ「八色の森公園」を大和地区の中心核として位置づけ、各地域を結ぼうと。そして、どこからでも、国定公園の越後三山・八海山が望まれる自然いっぱいの、「福祉と学園の町」を目指そうと、話合いを継続することとした。

塩沢地区では、大和の取組みよりも先行しており、平成14年度に牧之通り沿線住民40名で、建築協定を締結し、「まちなみ協定」と「デザインルール」に基づき個性的で魅力的な街並み整備を行いました。そして、牧之通りと交差する塩沢の駅前通でも「つむぎ通り」としての検討が進んでいる。また、「三国街道の駅・塩沢宿」の構想も住民主導で進んでいる。

六日町では坂戸城の城壁の修復に利用してもらいたいと、高額の個人の寄付があり、坂戸城の城壁の修復に入る予定だ。

このように、市の財産である、自然・歴史・文化・街並み等を、それぞれの地域で景観の整備が地域住民主導ですすめられてきている。それらの地域で、自然・歴史を守り、景観形成が円滑に進められるために、南魚沼市が「景観行政団体」になることが重要ですが、市長の考えを伺う。

### 〈市長答弁〉

今年3月に、佐渡市が名乗りを上げた。南魚沼市は県内5番目の、「景観行政団体」を目指し、19年度から取り組むべき、具体的な準備に入る。

日	内容
3日	↑ 県議・議長年始回り
6日	六日町商工会新春講演会
8日	裸押し大祭委員会
11日	湯沢町議員との懇談会
12日	(有)ウラコウ役員会
16日	本町商店会新年会
17日	三会派新年会
18日	大和商工会行政懇談会
20日	南政うつし新旧議員懇談会
21日	自民党大和支部役員会
22日	斉藤県議賀詞交換会
23日	大和中学校評議委員会
24日	裸押し記録保存活性化部会
25日	農地水環境ウラコウ会議
26日	毘沙門通り誘いの道研究会 シルバー人材センター・社会厚生議員との懇談会
29日	つつじクラブ研修会
30日	社会厚生委員会
31日	大和地域活性化検討委員会
1日	↑ 2月
1日	第4回環境審議会
2日	J A 大和地区総代懇談会
3日	一番会観音様新年会
3日	第14回国際交流セミナー
4日	八海山神社節分祭 裸押し記録保存調査委員会 第39回自民党大和支部定期大会
5日	毘沙門天十月会総会
5日	都市計画審議会
6日	耐久山岳マラン実行委員会
7日	議会運営委員会
7日	裸押し記録保存活性化部会
8日	斉藤県議事務所開き
11日	朱鷺の会総会

# 未来に向けて！

## ●第40回浦佐小学校卒業式（3月23日）

今日は全市の小学校で卒業式が行われた。天気も穏やかで卒業式日和。

ステージに向かって行われると思って式場の体育館に入ったら、体育館は菜の花で一杯。花の通路を入場する卒業生。中学生の制服を着、元気いっぱい手を振っての入場、目頭を押さえるお母さん…。卒業生の斜め左右に在校生と保護者。先生と私たちは卒業生と対面です。

一人一人に声をかけ、卒業証書をわたす若井校長先生。

卒業証書を手にし、お母さんお父さんの前まで進みお辞儀をし自席に戻る、我が子の成長に目を潤ませ、シャッターを押すお父さん。式も終りに近づき卒業生と在校生のエールの交換わかれの言葉、「30人31脚、新潟大会で出した自己ベスト9秒74。ぼくたちの汗と涙の結晶です。このすばらしい仲間をこれからもずっと大切にしていきます…」に涙するお母さん・お父さん、私も目頭が熱くなりました。

改めて先生に感謝すると同時に、大和中学校での活躍に胸をふくらませた。



## ●第39回大和中学校卒業式（3月6日）

体育館は耐震補強工事を行っており、卒業式は市民会館で行うという事を聞いていたが、卒業生の強い希望で体育館で行うことができた。工事を中断し、卒業式ができるようにしてくれた業者の方に感謝したい。

148名が、金澤校長先生から一人ずつ卒業証書を受け取る。どんな気持ちで卒業証書を手にしたのだろうか…。高校生活への夢と不安、そして、お父さん・お母さんへの感謝の気持ちで一杯と思う。在校生代表の送辞に続いての答辞では3年間の思いがこみ上げ、答辞を読む人も卒業生も感極まる…。



式典が終り、卒業記念合唱「旅立ちの日に」では、ハンカチで目をぬぐい、精一杯に歌う姿に感動した。卒業生を送り出す先生方の目を潤ませる姿に接し、先生方への感謝と、これからも厳しく、時には優しく見守ってほしいと思った。

この子ども達の将来の夢の実現のために、元気に通学・勉強ができる環境づくり、そして安心してすごせる地域づくりこそが議員の責務なんだと改めて感じた。

## 議会傍聴記



浦佐 慎一  
関

伯父さんから「議会を見に来ないか？」と、声がかかりました。東京での4年間の大学生活が終り、この春から地元（新潟）で働くものとして自分の住んでいる所のことを少しは知っておこうと思い、聞きに行くことにしました。市役所に行くことすでに議会は始まっており、議場の中はシーンとし張りつめた緊張感を感じた。それにしても、目をつむっている方も何人かいた…。想像していたより重厚感があり格好いいと思った。そして何か裁判のような感じがした。

実際に聞いてみると興味の無い話は眠くなるものです。私は爆睡してしまいました。しかし、興味のある話には聞き入りました。私にいたっては、傍聴席で質問と答弁なども考えてしまっていました。例えば「大学が終わって、地元就職する人が少なくなっている現状をどうするか？」は、私達の年代の問題です。就職場所が少ないから、帰ってこれないと言ったことありますが、帰ってきてても意味がないと友達はいいます。そういう人達には、地元にいる良さや意味を作っておける必要があるとおもいます。それは、都会にはない地域ごとの行事や祭りなどをすることです。小さいころから関わることもできるし楽しめます。その小さい頃の楽しんだ記憶が多くあればあるほど、結婚して子供ができた時に、自分の子供にも同じように楽しんでもらいたいと思う人が増えれば、地元に戻ってくると思います。

## ●編集後記

国が3月31日、発表した世論調査で、悪い方向に向っていると、トップに挙げた人が「教育」36%、ついで「医療・福祉」32%、「地域格差」が27%。いずれも私たちの生活に直結する問題です。生活を良くするための政治が国民の不安を反映した結果と思った。この結果は国の説明不足、国民との議論不足です。

政ごと、政治の基本は市民との対話なくして始まらないと、この数字からも学ぶ…。私への提言や苦言、市への要望・苦情等遠慮なさらずお申しつけて下さい。